

# カートリッジの交換方法

超水

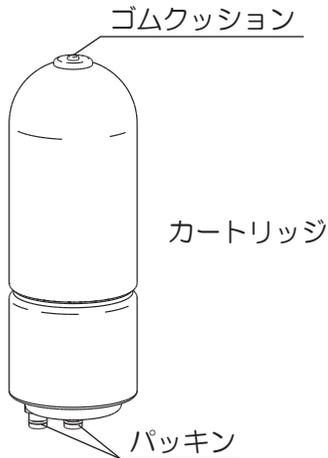
**MW-1000**

*π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM*

# カートリッジの交換方法

1

## 交換セット内容



## ※水の検査用

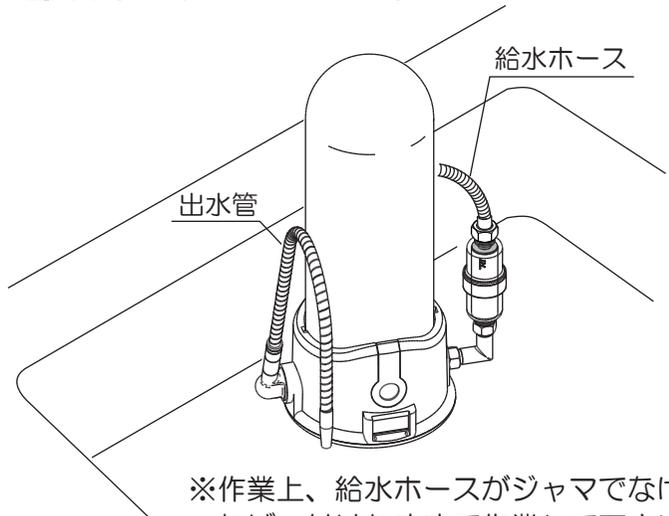


残留塩素測定試薬  
(1包1回分 5包入)

**!** 残留塩素測定試薬および  
残留塩素測定試薬の入った  
水は、飲まないように  
注意して下さい。

(1) 本体を流し台のシンク内に入れて下さい。(本体より水が出てくるため)

**!** 本体は重いためお取り扱いには、  
十分に気をつけて下さい。



※作業上、給水ホースがジャマでなければ、付けたままで作業して下さい。

(2) 本体内の水を抜きます。

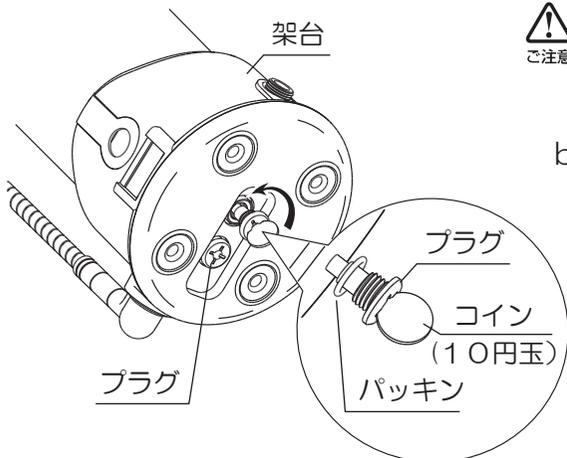
a 本体を斜めにし、本体底の2つのプラグをコイン(10円玉)により取り外して下さい。  
(カバーキャップは付けた状態で行って下さい)

**!** ・プラグを外すと水が出ますのでご注意下さい。  
・プラグを外したときにパッキンも外れますので、なくさないようにご注意下さい。

b プラグを外したまま、本体を立てた状態に戻し、内部に残っている水を抜いて下さい。

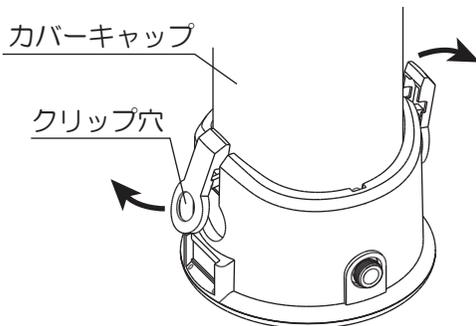
※約10分間放置して下さい。

**!** 凍りつく恐れのある場合も同様に、  
架台底のプラグ2個を外して、本  
体内の残留水を排水して下さい。



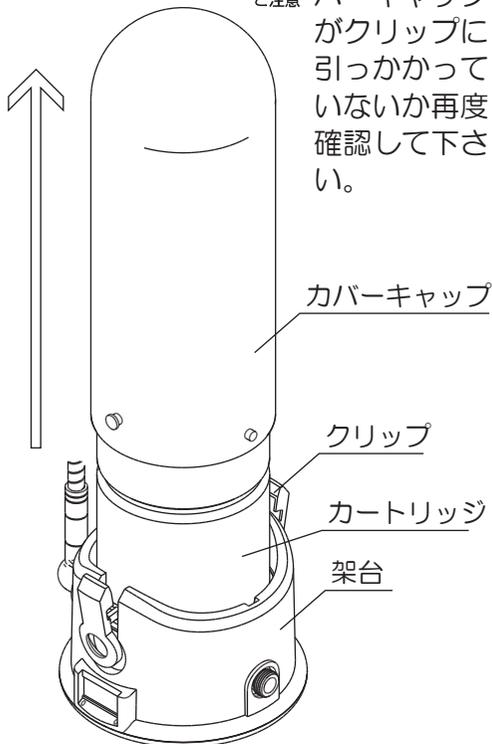
### (3) カバーキャップを取り外します。

- a 前後にあるクリップ穴を引き、カバーキャップからクリップを引き離します。



- b カバーキャップを上へ持ち上げて外します。

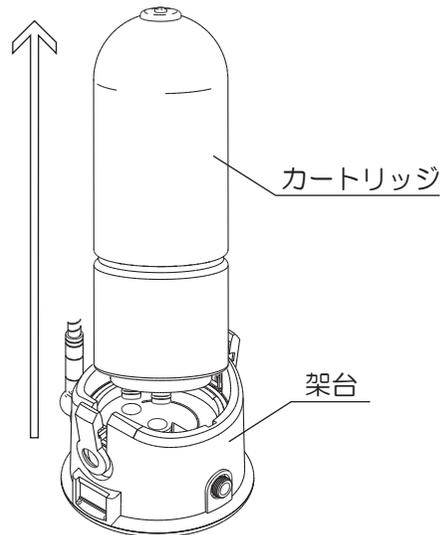
**⚠** このとき、カバーキャップがクリップに引っかかっているか再度確認して下さい。



### (4) カートリッジを持ち上げて、外します。



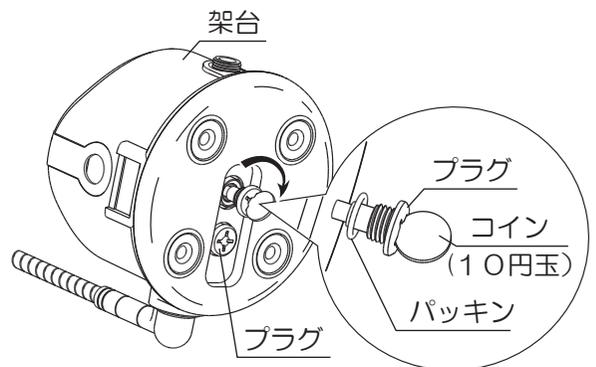
- ・残留水の排水が不十分な場合、カートリッジ内の水が漏れますのでご注意ください。
- ・うまくカートリッジが外れない場合は、架台を押さえながら、カートリッジを持ち上げて取り外して下さい。



### (5) 架台底に外したプラグを取り付けます。



- 外したプラグにパッキンがあることを再度確認してから取り付けて下さい。

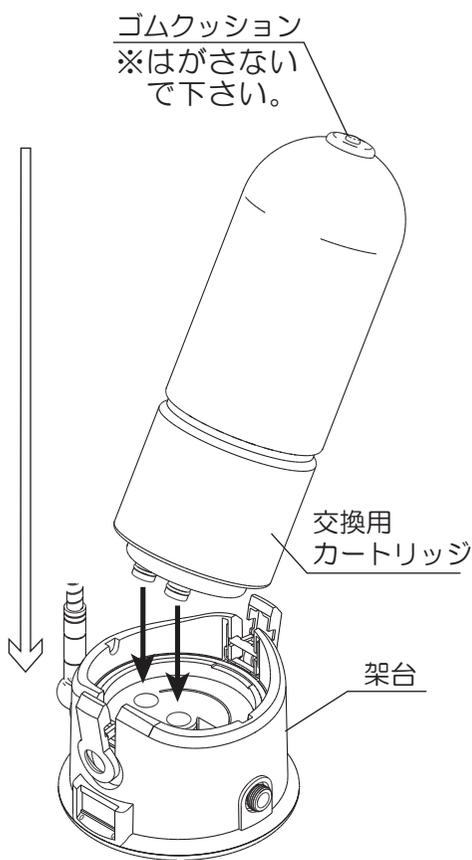


# 新しい交換用のカートリッジを準備して下さい。

## 3

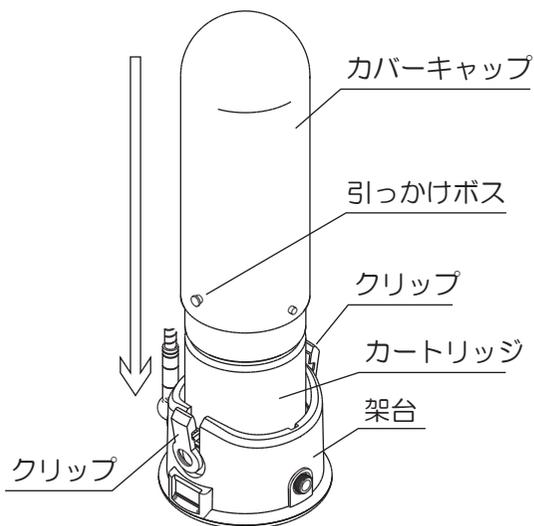
### (6) 本体に交換用カートリッジを差し込みます。

カートリッジ底の凸部と本体の丸穴を合わせて差し込み、その後上から軽く押さえて下さい。

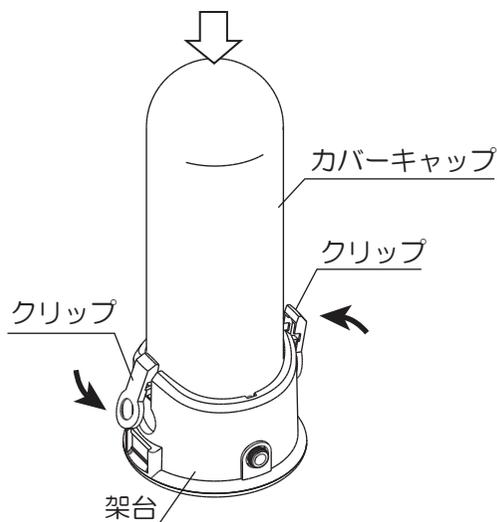


### (7) カバーキャップをセットします。

カバーキャップの引っ掛けボスが架台のクリップ位置にくるようにセットして下さい。



### (8) カバーキャップの上部を架台に押しつけながら、架台についているクリップで固定して下さい。



## (9) 本体を元に戻して、捨て水をして下さい。

- a: 蛇口に取り付けた切替コックのレバーを浄水にして、蛇口を少し開けます。

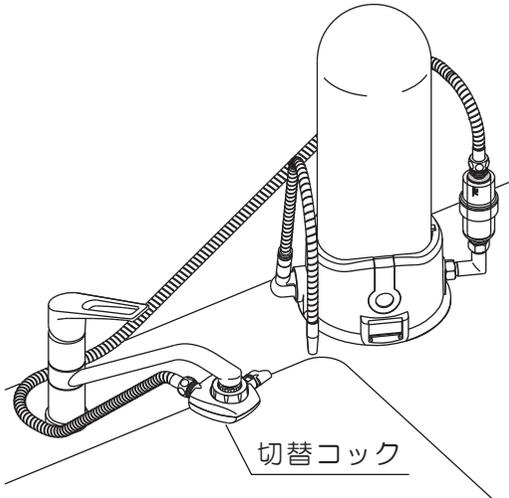


**ご注意** このとき音が鳴り、初めは水が出ませんが故障ではありません。

- b: 出水管から水が出たら蛇口を全開にして約2分間捨て水をして下さい。このとき、活性炭の微粉がろ過水に若干混入することがあります。そのときは微粉が出なくなるまで(5分程度)通水して下さい。



**ご注意** 通水初期は浄水器内の空気が完全に抜ける(数日間)までは、止水までに若干の時間を要しますが、止水不良ではありません。



**※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分して下さい。**

## ◆水の検査

これは、浄水された水が正常であることを確認する検査です。

### 確認方法

1. コップに浄水後の水(約50cc)を取ります。
2. 付属品の残留塩素測定試薬を1袋加えます。
3. かき混ぜて、無色透明であることを確認して下さい。

(判定は1分以内で行って下さい。)

残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

※但し、5分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますのでご注意下さい。



残留塩素測定試薬

### 【ご注意】

- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管して下さい。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封して下さい。
- 試薬が変色したものはご使用にならないで下さい。(保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。)
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用下さい。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意して下さい。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流して下さい。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談下さい。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

# ご家庭でできる簡単お手入れ

快適に末永くお使い頂くためのお手入れ方法です。

## ステンレス キャップ

軽い汚れの時は、柔らかい綿の布で磨くと良いです。落ちにくい汚れの際は、中性洗剤等をご使用下さい。

## 架台

軽い汚れの時は、柔らかい綿の布で磨くと良いです。落ちにくい汚れの際は、中性洗剤等をご使用ください。  
(注) シンナー系のものは使用しないで下さい。

## 出水管

塩素が取り除かれた水が出る出水管は汚れたハブラシ等で洗うと出水口に殺菌が付着・繁殖する事があるので清潔なハブラシ等で月に1～3回を目安に、水を出しながら汚れを落とします。

## 切替 コック

月に1～3回を目安に、出水部分を清潔なハブラシ等を使い水を出しながら汚れを落とします。

## 出水管交換

出水管を交換する際は、工具(プライヤー等)で右イラスト部分から外して交換します。

# こんなときは

修理を依頼される前に確認して下さい

こんなときは	もう一度確認して下さい	解決方法	参照ページ
架台から水漏れする	カートリッジの上にゴムクッションが付いていますか？	カートリッジ上のゴムクッションを剥がすと、通水時の水圧でカートリッジが浮いて水漏れしますので、ゴムクッションを付けておいて下さい。	3ページ(6)
	出水管の根元付近の蛇腹部分から水漏れしていませんか？	出水管の取り付け部分や蛇腹部分に水漏れ跡(又は滴り)が見られる場合、出水管の交換が必要です。販売店にご連絡下さい。	5ページ
出水管から水漏れする	出水管を固定しているネジ部分がゆるんでいませんか？	出水管のネジがゆるいと水漏れしますので、工具等で締め付けて下さい。	5ページ
	出水管のネジがゆるんでいませんか？	出水管のネジがゆるんだ状態で左右に動かし続けるとネジ山が削れて締められ無くなりますので、出水管の交換が必要です。販売店にご連絡下さい。	
		長期使用での劣化によるものと思われる。新しい出水管と交換して下さい。	5ページ
水が出ない又は、弱い	ミニトロンのカートリッジを交換しましたか？	ミニトロンカートリッジの上下を逆にセットすると水が出なくなることがあります。正常にセットし直して下さい。 給水ホースを外さずに行うと、給水ホース内部のチューブがよじれて、水が出ません。給水ホースを一度外し、水栓を少し開けて給水ホースから水が出る事を確認してから、再度、接続して下さい。	
	カートリッジを交換しましたか？	水道の水質により異なりますが、カートリッジ寿命付近になると、水の出が弱くなります。カートリッジの交換が必要ですので、販売店にご連絡して下さい。	
ろ過水に異物が混入する	出水管の出水部分を洗浄されましたか？	キッチンまわりは雑菌が繁殖しやすいので、定期的に出水部分をハブラシ等を使い、清潔に保って下さい。	5ページ

井戸水をご使用するときには、保健所での飲料適合の承認を得たものをご使用ください。

# ご使用上の注意

- (1) 使用水圧（動水圧）0.35MPa 以内でご使用下さい。
- (2) 凍りつく恐れのある場合は、本体内の残留水を排水（P1 参照）して下さい。
- (3) 井戸水等（水道水以外）に使用される場合は、必ずご相談下さい。
- (4) 製氷器・湯沸かし器等には、連結しないで下さい。
- (5) ご使用温度は、5～50℃にして下さい。熱湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。万が一、熱湯を通した場合、すぐに冷水で捨て水して下さい。
- (6) 朝、最初に使う場合は、約45秒間捨て水をして下さい。2～3日使用されなかった場合は、約2分間位の捨て水をして下さい。
- (7) 近所で水道工事を行っている時には通水をしないで下さい。
- (8) 金魚や熱帯魚等の水槽には使用しないで下さい。
  - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
  - ・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合、魚が死んでしまう恐れがあるため。
- (9) 水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗って下さい。
- (10) 本体は、絶対にシンナーやベンジンなどで拭かないで下さい。
- (11) 出水管を強く曲げたり頻繁に曲げると、巻きパイプ部分のシール材が破損や摩耗により水漏れが起きますのでご注意下さい。安心してご使用頂くため、出水管は2～3年に一度の交換（有償）をお勧めします。
- (12) 使用水にミネラル分が多く含まれている場合は、給水ホースの内面にミネラル分が付着・蓄積し、この蓄積物が剥がれて原水に混入することでカートリッジの寿命が短くなるのを防ぐために、給水ホースは5年に一度の交換（有償）をお勧めします。

■製造元 株式会社 **エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10  
TEL. 03-3634-7373 FAX. 03-3634-7384